

ゆくさ おじゃったもした
(ようこそ おいでくださいました)



1.はじめに

「どのようにしたら、鹿児島で一ヶ月間遊んで暮らせるか」テーマに鹿児島の未来像を計画した。

2.鹿児島の特徴

- ①本土最南端に位置する。
- ②海岸線が長〜い（総延長L=2,643kmで全国3位）
- ③食品自給率が高〜い（自給率 84%：全国9位（全国平均40%））
- ④地下水が豊富
- ⑤温泉が多くて安い（最安値は100円から！！通常330円）

3.観光かごしま新規交通網の整備

一ヶ月間鹿児島で遊ぶためには、まず交通網のインフラ整備を行う。
交通機関については、改良型LRT（軽量軌道交通）とし、水陸両用タイプの作成を行う。
水陸両用タイプの改良型LRTとは、ホバークラフトの特性を兼ね備えたLRTとする。
これを用いれば、開聞岳＝佐多岬間の海上走行が可能となりうる。
また、この間に関しては海底トンネル（海の生き物が見えるトンネル）などに整備することで、新たな観光資源としての位置付けにもなるであろう。



なお、改良型LRTの動力の元となる燃料に関しては、鹿児島の長い海岸線を利用した風力発電、水資源を利用した水力発電などを当てることを検討する。

交通網のルートとしては、主に海岸線沿いに配置することで、路線の起伏をなるべく少なくする。

太平洋に接する大隅半島東側では、朝日を眺め、日本海に接する薩摩半島では、夕日を眺め、錦江湾に接する内陸地では雄大な桜島を眺めることで、穏やかな日々をすごすことができるはず。

また、各地の温泉も楽しみの一つになるであろう。

鹿児島の自給率からも読み取れるように、鹿児島はおいしい農産物、水産物が多い。また名水から作られる焼酎に、「うっまかあ〜」と舌鼓を鳴らす毎日を送ってみませんか？



4.主なルートの説明（楽しみ方）

ルート①鹿児島市内～桜島（赤の破線）

錦江湾で取れるカンパチを主体とした料理とともに、名産焼酎に舌鼓。
雄大な桜島を間近に見ながら、露天風呂などもいかが？

ルート②桜島～鹿屋～佐多岬経由～指宿（青の破線）

錦江湾で取れるカンパチ、かのやばら園でバラの鑑賞。
なんとバラで作ったアイスクリームがあります。
本土最南端佐多岬から海を一望。
錦江湾を横断し、指宿砂蒸風呂で地下熱を肌で感じる。
暑い温泉で汗を流したあとは、水割り焼酎で体をキュッと冷やしましょう。

ルート③指宿～枕崎、南さつま市経由～いちき串木野（オレンジの破線）

開聞岳麓に広がる自然公園の散策。
開聞岳登頂にもチャレンジ！？
枕崎でのかつお（たたき、さしみ、天麩羅など）を食する。
南さつま市ではラッキョウ（酢漬け、塩漬け）、かぼちゃなどの特産品を食する。
日本三大砂丘吹上浜から見える夕日にうっとり。
日本海でとれた新鮮な魚介類を味わいつつ、名産焼酎で舌鼓。

ルート④いちき串木野～薩摩川内市、出水市経由～大口市（水色の破線）

寒い季節だと、出水市では鶴の鑑賞が可能。
薩摩川内市では新型新幹線の見学も出来ます。
原子力発電所の観覧も可能です。
大口では、日本の名水にも選ばれている霧島山麓の水で水割りでもいかが？

ルート⑤大口～志布志（緑色の破線）

本案のルートの中で唯一、海岸線に接していないルートになります。
ここでは、主に山の幸を味わいながら霧島山麓の雄大な展望を味わいます。

ルート⑥志布志～内之浦経由～鹿児島市内（桃色の破線）

太平洋から上る朝日を眺めて、一日の始まりを肌で感じます。
内之浦ではロケットセンターの見学が可能
また、えっかね（イセエビ）と焼酎で幸せなひと時を感じましょう

5.最後に

鹿児島は、豊富な観光資源を有した県であると自負している。
しかしその一方で、台風の到来回数も多く、急峻な山岳地帯も多いため、ひとたび災害が発生すると、その復旧には長い期間と多大なる費用がかかる。
マイナス面も雄大な自然に囲まれた鹿児島の特徴として、転んでただで起きない先駆者の精神「不撓不屈」に基づき、豊かな観光都市形成を行いたい。